

2012 年 7 月 9 日 愛知同友会創立 50 周年記念式典「歴史・知恵・夢をつなぎ、未来へ」

聴きどころ、学びどころ

◎記念講演——「愛知同友会 50 年の歴史から学ぶもの」

講師：渡辺 俊三氏 / 名城大学経済学部教授、「愛知同友会 50 年史」著者



「三つの目的」「地区活動」「経営指針」
「21 世紀型企業」「中小企業憲章」…

50 年の歴史から学ぶ愛知同友会の「先駆性」とは？現在も脈々と生きる
理念・活動、全国に先駆けた数々の「愛知モデル」、そのルーツを探ります

◎各時代の代表理事パネルディスカッション——「過去から現在、そして未来へ」

黎明期・転換期・そして現在、同友会での学
びを企業経営に生かし、同友会創立当初から
引き継がれてきた哲学——「人間尊重の経営」
で自社をそれぞれ大きく発展させてきた実証
者である、各時代の代表理事に、当時の同友
会および自社への想いを聞きます。

コーディネーター

加藤 輝美氏

(株)ケイ・クリエイト

取締役会長（一宮地区）

愛知同友会理事（会員・役員育成担当）



パネリスト

遠山昌夫氏

1962 年（初代）、
73～78 年度代表理事
菊水化学工業（株）
最高顧問
（西地区）



中小企業家運動の黎明

二重構造経済、中小企業家は多大な経
営的困難を抱えながら相談する相手も
場所もない時代。遠山氏は自身の会社も
大赤字や社員の離反と危機を迎える中、
名古屋同友会を 34 名で創立。遠山氏は
社員と徹底した話し合いを続け、理念を
強固に共有する信頼関係を築き、やがて
上場企業へと発展。同友会では「経営姿
勢を正し、赤字企業をなくす」を活動の
柱にし、「地区活動」「三つの目的」「経
営指針」など運動の基礎を築きました。

パネリスト

鋤柄 修氏

1995～2004 年度
代表理事
（株）エステム
代表取締役会長
（南地区）



21 世紀へ、同友会運動の転換

社内で労働組合の結成を機に、鋤柄氏
はまさしく「わらにもすがる」思いで同
友会に入会。体当たりの活動で学んだ
「労使見解」に基づく指針・採用・共育
を愚直に実践し、会社は大きく成長。「同
友会は自社発展のカギであった」と鋤柄
氏は語ります。その後バブルが崩壊、同
友会が最大の苦境を迎えた時期に代表
理事に就任。同友会の質的転換に組み
込み「自立型企业」「地域と共に」を掲げ
た「99 同友会ビジョン」に結実します。

パネリスト

加藤明彦氏

2011 年度～現在
代表理事
エイベックス（株）
代表取締役会長
（天白地区）



中小企業が輝く時代への飛躍

自社経営と同友会をまさに不離一体
で取り組み、「同友会らしい」黒字企業
づくりを進めてきた加藤氏。08 年リーマ
ンショックで売上 7 割減という危機を
迎えるも、雇用を 100%守り全社員の努
力で苦境を乗り越える事に成功。その土
台には「労使見解」の精神を基礎に培っ
てきた「決して他人のせいにはしない経営
姿勢」と「克ち進む経営」がありました。
代表理事の現在、真に中小企業が存在価
値が輝く時代への展望を語ります。

>> 記念式典で、愛知同友会創立 50 周年を全会員で祝うと共に、50 年の歴史に裏打ちされた
「同友会らしさ」に確信をもって、各社の「明日の経営」に生かしましょう。 <<

実行委員長あいさつ

愛知中小企業家同友会は、2012年に創立50周年を迎えます。1962(昭和37)年7月9日、「名古屋中小企業家同友会」として、情熱溢れる熱き34名の中小企業家によって発足し、50年の年月が経過しました。以来、さまざまな運動を展開し、愛知中小企業家同友会が提唱した金融アセスメント法制定にかかわる運動では、全国の同友会を巻き込んで、100万筆を超える署名を集めました。この署名運動がきっかけとなり、2010年6月18日には「中小企業憲章」が閣議決定されました。また、会勢も3000名を超え、われわれの日々の活動などが、各報道機関から大きな注目を集めるまでになりました。

この度50周年を迎えるにあたり、熱き想いを持って創立していただいた当時を振り返り、現在取り組まれているさまざまな活動が、どのような経過をたどってきたのかを検証して参ります。また、今後60周年、100周年を迎えるための未来を見据えた「2020ビジョン」も発表します。

2012年度は、1年間を通じて50周年記念事業を展開いたします。50周年の歴史に学び、そして、われわれ中小企業家にとって、明るい未来へとつなげる活動を行います。会員の皆様方の積極的なご参加をお願い申し上げます。

50周年事業実行委員長 **上根 崇**



事業の目的

1. これまで関わって頂いた方々に感謝すると共に、愛知中小企業家同友会 50 年の歴史を振り返り、原点を見つめ直す。
2. 激変する時代の変化に対応し、同友会らしい発想と行動力で、新しい知恵や知識を取り入れ、新しい時代への踏み出す第一歩とする。
3. 会員それぞれが、経営者として必要な能力を今以上に磨き、企業や愛知中小企業家同友会が未来永劫続き、発展する様、更なる飛躍を誓う場とする。

主な企画・日程（2012年度）

＜地域＞	憲章制定2周年の集い	6月18日	条例制定大学習会	8月開催
＜創造＞	50周年記念式典		7月9日（創立記念日）	
＜歴史＞	50周年記念誌発行		7月9日（式典にて）	
＜未来＞	2020ビジョン発表		7月9日（式典にて）	
＜原点＞	「50周年記念」支部例会		年度内に各支部で開催	
＜世界＞	海外視察		9月2日～9日	
＜人間＞	「人を生かす経営」全国交流会		11月15日～16日	
＜仲間＞	3500名・会員増強推進		通年	

2012年度を通じて、全部門・全組織・全会員が主体者として連帯し、愛知一丸となって、50周年の目的実現、獲得目標達成にむけて取り組み、2012年7月9日創立50周年記念日を、3500名会勢で迎えましょう